

# mcAccess e

---

取扱説明書

指令ターミナル

品番 MSS-6100A

---



このたびは指令ターミナルをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(5～6ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後は大切に保存し、必要なときにお読みください。

■本書裏面の保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 特徴

---

## ■メモリ機能で簡単操作

- 接続先を簡単に表示する局番号帳メモリ機能を装備
- 漢字名称を選択して、全グループ通信、グループ通信、個別通信モードの切替や、相手局の呼び出しが可能

## ■広域サービスで広がる利用範囲

- ゾーン切替・ユーザー切替機能で他のゾーンに移動したときでも通信が可能
- ネットワークで通話ゾーンを結び、ワイドなエリアを実現

## ■充実した録音機能

- 通話内容を録音する通話メモ
- 相手局から届いた伝言メモの再生が可能
- 相手局への伝言メモ録音が可能

## ■その他インテリジェントな機能

- 漢字メッセージの送信・受信が可能
- 状態設定、状態表示が可能
- テンキー入力により、相手局番号、呼出グループ番号の設定が可能
- テンキー入力により、メニューの選択が可能
- ひらがな、カタカナ、英字、数字でメール作成が可能

## ■選べるマイク

- スタンドマイクの他に、車載用のハンドマイク、スピーカーマイク、PC用マイク、ヘッドセット（※1）の使用が可能  
※1：PC用マイクおよびヘッドセットは弊社で動作確認をした機種に限定されます。

# 目次

安全上のご注意.....	5
正しくご使用いただくために.....	7
構成.....	8
各部の名称とはたらき.....	10
キー表示説明.....	13
準備.....	17
■準備.....	17
電源を入れる／切る.....	19
■電源を入れる.....	19
■電源を切る.....	19
通話する（発信）.....	20
■通信モードを切り替えて発信する.....	21
■局番号帳を利用して発信する.....	22
通話する（着信）.....	25
■通話中の全グループ一斉受信について.....	25
■システム一斉について.....	25
■通話の終了について.....	26
履歴から発信する.....	27
■発信履歴から発信する（リダイヤル）.....	27
■着信履歴から発信する（コールバック）.....	27
音量を調整する.....	28
■通話中に音量を調整する.....	28
■待ち受け中に音量を調整する.....	28
相手局から呼び出される（選択呼出）.....	29
不在着信.....	30
取消セレコール送信.....	31
通話中の音声を録音／再生する（通話メモ）.....	32
■通話メモ録音を設定する（待ち受け中）.....	32
■通話メモ録音設定を解除する（待ち受け中）.....	32
■通話メモを録音する（通話中）.....	33
■通話メモを録音停止する（通話中）.....	33
■通話メモを再生する.....	34
特定の相手局を呼び出す（選択呼出）.....	35
■通信中にセレコールを送る.....	37
伝言メモ、メールを送る.....	38
■相手局に伝言メモを送る.....	38
■相手局にメールを送る.....	40
■メールを再度送信するには.....	41

# 目次

---

伝言メモ、メールを確認する.....	42
■届いたメールを確認する.....	42
■届いたメールを消去する.....	43
■伝言メモを再生する.....	43
■伝言メモを消去する.....	43
自ゾーンを切り替える.....	44
広域接続先を切り替える.....	45
■広域接続先を変更する.....	45
■広域接続先を解除する.....	46
ユーザーを切り替える.....	47
自局情報を確認する.....	49
コントラストを調整する.....	51
詳細確認.....	52
グループ設定.....	53
状態を設定する.....	54
■状態を設定する.....	54
■状態の設定を解除する.....	55
キーロック設定・解除.....	56
ケタ数／件数一覧.....	57
メッセージ一覧.....	58
保守.....	60
故障と思われる前に.....	61
用語・機能説明一覧.....	62
仕様.....	63
保障とアフターサービス.....	63

## 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意**

この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**警告**

医療機器のそば、医療用施設内では使用しない



禁止

医療機器の動作に支障をきたす恐れがあります。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

## ⚠️ 注意

## ケーブルを破損させない



禁止

無理にねじる、引っ張る、踏みつける等をするとう破損につながり、ショートや発熱により、火災、感電、故障の原因となります。

- ケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

## 煙が出たり、変な臭いがするなどの異常時は使用しない



禁止

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

- 無線機およびAC電源装置の電源スイッチを切り、電源ケーブルを外して販売店にご連絡ください。

## 分解や改造をしない



分解禁止

感電の原因となります。

## 指定以外の装置を接続しない



禁止

感電の原因となります。

## ぬらさない



禁止

水が入ったり、ぬらした場合、火災、感電、故障の原因となります。

- 内部に水などが入った場合は、まず無線機の電源スイッチを切り、本機を無線機から取り外して販売店にご連絡ください。

# 正しくご使用いただくために

---

## ■取り付けおよび運用上のご注意

- 本装置と無線機およびAC電源装置は確実に接続してください。  
接続ケーブルおよびマイクのコードは強く引き伸ばしたままにしないでください。  
コードの断線などにより故障の原因になります。
- 電波法により、無線機やマイクを分解、改造、指定以外の装置を接続することは禁じられています。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に置かないでください。
- 極端な高温・低温の環境下での利用は避けてください。  
故障の原因となります。  
推奨使用環境：温度0～+40℃
- 冷房装置の、冷風の当たる場所に置かないでください。
- 本機は室内専用機ですので、車載などは行わないでください。
- マイク利用の際は口をマイクから約5cm離してご利用ください。  
距離が近いと、音声が割れたり、歪むことがあります。
- 一日のご使用が終わりましたら、無線機、AC電源装置の順に電源をお切りください。
- 清掃に、シンナー・アルコールなどを使わないでください。
- 内部の点検、修理は販売店などに依頼してください。
- 年に一度は内部の掃除を販売店などにご相談ください。  
長い間掃除を行わずに、本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になることがあります。  
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。  
なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

# 構成

品名		数量	備考
標準構成	本体	1	
	接続ケーブル	1	ケーブル長約1.5m
	取扱説明書	1	
オプション	マイク	—	スタンドマイク、ハンドマイク、当社指定のPC用スタンドマイク、PC用ヘッドセットの中のいずれかを使用してください。
	無線機スピーカー出力ケーブル	—	本機で、外部スピーカーのオンオフを行う場合に使用します。ケーブル長約1.5m
	外部スピーカーケーブル	—	

本体



接続ケーブル





## 構成（つづき）

---

推奨マイク（パナソニック社製スタンドマイクEA-M50024AA）



推奨マイク（ELECOM社製スタンドマイクMS-STM54）



推奨ヘッドセット（ELECOM社製HS-HP02シリーズ）



## 各部の名称とはたらき

## &lt;前面&gt;



- ① 外部スピーカーオンオフスイッチ --- オプションのケーブルを使用してヘッドセット使用時に外部スピーカーのオンオフを行います。
- ② 電源・終話キー ----- 電源の入/切、通話の切断に使用します。
- ③ モードキー ----- 通信モードを切り替えるときに使用します。
- ④ クリアキー ----- 入力文字の消去などに使用します。
- ⑤ 送信キー ----- メールを送るときなどに使用します。
- ⑥ テンキー ----- 数字、英字、漢字の入力に使用します。
- ⑦ キーロックキー ----- 長押しでキーロックモードになります。
- ⑧ LCD表示器 ----- LCDにそれぞれのモードにより、状態が表示されます。
- ⑨ ▲、▼キー ----- 登録された内容を検索するときなどに使用します。▲マークが表示されている場合、画面の上スクロールを行います。▼マークが表示されている場合、画面の下スクロールを行います。
- ⑩ ガイドキー（左） ----- LCD画面の左下に表示している操作を行うとき使用します。
- ⑪ ガイドキー（右） ----- LCD画面の右下に表示している操作を行うとき使用します。
- ⑫ 機能キー ----- あらかじめ登録されたメニューへ移行します。
- ⑬ ガイドキー（中央） ----- LCD画面の中央下に表示している操作を行うとき使用します。
- ⑭ 戻るキー ----- 前の画面に戻ります。
- ⑮ プレスキー ----- 本機に接続したマイクで通話を行うときに使用します。（押すと音声の送信状態、離すと受信状態）外部マイク使用の場合は外部マイクのプレススイッチを使用してください。

## 各部の名称とはたらき (つづき)

### <背面>



- ① 外部マイクコネクタ ----- パナソニック社製のスタンドマイク、ハンドマイク等を接続します。
- ② マイクコネクタ ----- PC用等の当社指定のスタンドマイク、ヘッドセットのマイク等を接続します。
- ③ マイク感度切替スイッチ ----- マイクコネクタの感度を切り替えます。外部マイクコネクタの感度は変更できません。(通常、は「高」を、選択します。声が小さい場合は「低」を選択します。)
- ④ ヘッドセットスピーカー接続コネクタ --- ヘッドセットのヘッドフォンコネクタを接続します。
- ⑤ スピーカー入力コネクタ ----- ヘッドセット使用時に、前面の外部スピーカーオンオフスイッチを使用してスピーカーのオンオフを行う場合に、無線機スピーカー出力を接続します。(注2)
- ⑥ スピーカー出力コネクタ ----- ヘッドセット使用時に、前面の外部スピーカーオンオフスイッチを使用してスピーカーのオンオフを行う場合に、外付けの外部スピーカーを接続します。(注2)
- ⑦ 無線機接続端子 ----- 添付の無線機接続用ケーブルを接続します。

注1：本器に接続するマイク、ヘッドセットは動作確認済みの製品をご使用ください。

注2：本機能を使用する場合は、オプションの無線機スピーカー出力ケーブル、外部スピーカーケーブルが必要です。ヘッドセット使用時以外でもスピーカー出力をオンオフさせることはできます。

- ・オプションの無線機スピーカー出力ケーブルは一般品の3.5Φモノラルケーブル(プラグープラグ)を使用することが出来ます。ケーブル長は1.5m程度
- ・オプションの外部スピーカーケーブルは一般品の3.5Φモノラルケーブル(プラグージャック)を使用することが出来ます。ケーブル長は1.5m程度

## 各部の名称とはたらき (つづき)

### ■表示部

#### <待ち受け中>

キーロック状態の時表示されます。

通話メモが設定されている则表示されます。

未確認の伝言メモ、メールがある場合に表示されます。

回線状態が表示されます。使用できない場合には「話中」と表示されます。

受信電界強度が3段階で表示されます。  
mcAccess e サービスエリア外や電波の届いていない所では、「圏外」と表示されます。

発信相手局が表示されます。

設定により「状態」、「自ゾーン」、「通信時限」が表示されます。

「」が表示されているときに キーを押すと、発信履歴または着信履歴が表示されます。

「」が表示されているときに キーを押すと、メニューが表示されます。

「」が表示されているときに キーを押すと、局番号帳が呼び出されます。

#### <通話中>

回線状態が表示されます。  
「通話」、「話中」、「送信」、「予約」

通信相手局の名称または番号が表示されます。

通信モードが表示されます。  
「一斉」：全グループ一斉  
「全グ」：全グループ  
「グル」：グループ  
「個別」：個別  
「シス」：システム一斉

通話残時間が表示されます。

「」が表示されているときに キーを押すと、セレコール番号帳を表示します。  
セレコール機能を使用するためには、販売店での保守設定が必要です。

画面下の操作を行うときにそれぞれのキーを押します。

「」が表示されているときに キーを押すと、通話メモ録音を停止します。

# キー表示説明

## ■ガイドキー説明

No.	ガイダンス	キー名称	備 考
1		局番号帳キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（左）に対応（待ち受け画面、メニュー画面）</li> <li>・局番号帳画面を表示します</li> </ul>
2		上キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーソルの移動、受信メール本文の前ページ表示</li> <li>・音量調整、コントラスト調整</li> </ul>
3		下キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーソルの移動、受信メール本文の次ページ表示</li> <li>・音量調整、コントラスト調整</li> </ul>
4		メニューキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（中）に対応（待ち受け画面、通話画面）</li> <li>・メニュー画面へ移行</li> </ul>
5		履歴キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（待ち受け画面、メニュー画面）</li> <li>・履歴画面を表示する</li> </ul>
6		入力キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（中）に対応（ヨミ検索画面、メール作成画面）</li> <li>入力した文字の確定</li> </ul>
7	   	カナキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（ヨミ検索画面、メール作成画面）</li> <li>・文字モードの切替</li> <li>・メール編集時は以下の順で切り替わります かな→カナ→英字→数字→かな・・・</li> <li>・ヨミ検索時は以下の順で切り替わります カナ→英字→数字→カナ・・・</li> </ul>
8		前頁キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（左）に対応（局番号帳画面、セレコール番号帳画面）</li> <li>・前頁の画面を表示します</li> </ul>
9		次頁キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（局番号帳画面、セレコール番号帳画面）</li> <li>・次頁の画面を表示します</li> </ul>
10		選択キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（中）に対応（局番号帳画面、発信履歴画面、着信履歴画面、セレコール番号帳画面、受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、メニュー画面、その他の画面）</li> <li>・各選択先画面を表示します</li> </ul>
11		録音キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（左）に対応（通話画面）</li> <li>・通話メモ録音の開始をします</li> </ul>
12		停止キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（伝言メモ再生画面、通話メモ再生画面）</li> <li>・再生時は再生停止</li> <li>・通話時は通話メモ録音停止</li> </ul>
13		セレキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（通話画面）</li> <li>・セレコール番号帳画面を表示します</li> </ul>

## キー表示説明 (つづき)









No.	ガイダンス	キー名称	備 考
14	<b>決定</b>	決定キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（中）に対応（セレコール番号帳画面、発呼メニュー画面）通話メモ設定画面、自ゾーン切替画面、広域ゾーン設定画面（第1階層）、ユーザー切替画面、状態設定画面、グループ番号設定画面）</li> <li>・各設定画面</li> </ul>
15	<b>切替</b>	切替キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（発信履歴画面、着信履歴画面、受信メール一覧画面、送信メール一覧画面）</li> <li>・発信履歴画面↔着信履歴画面の切替</li> <li>・受信メール一覧画面↔送信メール一覧画面の切替</li> </ul>
16	<b>定型</b>	定型文キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（左）に対応（メール作成画面）</li> <li>・定型文を表示します</li> </ul>
17	<b>発呼</b>	発呼キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（中）に対応（詳細確認画面、受信メール本文画面、送信メール本文画面）</li> <li>・発呼を行います</li> </ul>
18	<b>巻戻</b>	巻き戻しキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（左）に対応（通話メモ再生画面）</li> <li>・通話メモ再生の巻き戻し動作をします</li> </ul>
19	<b>再生</b>	再生キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（左）に対応（通話メモ設定画面）</li> <li>・再生を開始します</li> </ul>
20	<b>地域</b>	地域キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（広域ゾーン設定画面（第1階層）、（第2階層）、（第3階層））</li> </ul>
21	<b>返信</b>	返信キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（受信メール本文画面）</li> <li>・メール編集画面を表示します</li> </ul>
22	<b>再送</b>	再送キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（右）に対応（送信メール本文画面）</li> <li>・メールの再送を行います</li> </ul>
23	<b>確認</b>	確認キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドキー（中）に対応（自局情報画面）</li> <li>・自局情報表示解除（待ち受け画面または各通話画面を表示します）</li> </ul>

# キー表示説明 (つづき)

## ■その他のキー説明

No.	キー表示	キー名称	備 考
1		プレスキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在選択中の相手局に発呼を行います</li> <li>・相手局を選択していない場合はモード設定先に発呼を行います</li> <li>・音声は本機に接続した、マイクのみ送られます。外部マイク使用の場合で音声を送る場合は、外部マイクのプレススイッチを操作してください</li> </ul>
2		送信キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち受け画面、局番号帳画面、発信履歴画面、着信履歴画面、セレコール番号帳画面、現在選択中の相手局に発呼およびセレコールをおこないます</li> <li>・通話画面で選択している相手局番号にセレコール送信を行う</li> <li>・送信メールのメール作成画面、送信メール履歴の送信メール本文画面でメール送信をおこないます</li> <li>・伝言メモ作成画面で伝言メモを送信します</li> <li>・取消セレコール送信画面で取消セレコールを送信します</li> </ul>
3		戻るキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前画面に遷移します</li> <li>・メニュー画面からは必ず待ち受け画面または通話画面に遷移します</li> </ul>
4		機能キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定先へ遷移します</li> </ul>
5		クリアキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち受け画面（番号入力中）、ヨミ検索画面、局番号帳番号入力画面、メール作成画面で1文字クリアを行います（長押し押下で全クリアを行います）</li> <li>・受信メール履歴画面、送信メール履歴画面、発信履歴画面、着信履歴画面で履歴のクリアを行います</li> </ul>
6		モードキー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち受け画面でモード切替を行います</li> </ul>
7		電源・終話キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通話状態時に終話をおこないます</li> <li>・長押し押下で電源入/切をおこないます</li> </ul>
8		1キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち受け画面（番号入力中）、通話画面（番号入力中）、グループ設定画面で番号入力を行います</li> <li>・ヨミ検索画面、メール作成画面で文字入力を行います</li> </ul>
9		2キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>
10		3キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>
11		4キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>

## キー表示説明 (つづき)

No.	キー表示	キー名称	備 考
12		5キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち受け画面（番号入力中）、通話画面（番号入力中）、グループ設定画面で番号入力を行います</li> <li>・ヨミ検索画面、メール作成画面で文字入力を行います</li> </ul>
13		6キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>
14		7キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>
15		8キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>
16		9キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>
17		0キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同じ</li> </ul>
18		#キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち受け画面で長押しによりキーロック設定します（通話画面では解除のみ有効）</li> <li>・メール作成画面でカーソルを右に移動します</li> </ul>
19		*キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール作成画面でカーソルを左に移動します</li> </ul>



# 準備

## ■準備

1 本装置を無線機、マイク等の機器と接続します。

- 本装置添付の接続用ケーブルのモジュラーコネクタを、無線機本体のマイク接栓と、本機の無線機コネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。取り外すときは、無線機側はツメを押し上げ、手前に引きます、本機側はツメを押し下げ、手前に引きます。接続ケーブルに方向は有りませんので、どちら側を接続してもかまいません。

オプションの無線機スピーカー出力ケーブル、外部スピーカーケーブルを使用する場合は、無線機スピーカー出力ケーブルを、無線機の「スピーカー出力」と本機の「スピーカー入力」へ、外部スピーカーケーブルを本機の「スピーカー出力」と外部スピーカーの「入力」へ挿しこみます。

無線機



指令ターミナル（背面）



- 本機と接続するマイクを、マイクコネクタまたは外部マイクコネクタに差し込みます。いずれも最後まで差し込んでください。外部マイクとマイクは、プレススイッチを使い分けることにより（外部マイクは機器のプレススイッチ、マイクは本機のプレススイッチ）、両方を差し込んでおいても使用することが出来ます。音声は、プレススイッチを押下した方が接続されます。

### ○外部マイク使用時

外部マイク使用時にはスタンドマイク、ハンドマイクなどのモジュラーコネクタタイプのマイクを差し込みます。外部マイク使用時は、外部マイク側のプレススイッチを操作して通信を行います。



## 準備（つづき）

### ○マイク使用時



使用するマイクのコネクタを、マイクコネクタに差し込みます。マイク使用時は本機のプレスキーを操作して通信を行います。通常は、本機背面のマイク感度切替スイッチを「高」にします。音声小さい場合はマイク感度切替スイッチを「低」にします。マイクとヘッドセットの同時使用は出来ません。

### ○ヘッドセット使用時

使用するヘッドセットの、ヘッドセットマイク（薄桃色）をマイクコネクタに、ヘッドセットスピーカー（薄緑色）をヘッドセットスピーカー接続コネクタに差し込みます。マイクとスピーカーの挿し間違いにご注意ください。ヘッドセット使用時は本機のプレスキーを操作して通信を行います。

ヘッドセットはケーブルの途中に音量ボリュームがありますので、ヘッドセットの音量調整を行うことができます。オプションの無線機スピーカーケーブル、外部スピーカーケーブルを使用して外部スピーカーを接続しますと、本機前面パネルの、外部スピーカーオンオフスイッチで無線機の




スピーカーのオンオフが行えます。本機背面のマイク感度切替スイッチを「高」にします。音声小さい場合はマイク感度切替スイッチを「低」にします。ヘッドセットとマイクの同時使用は出来ません。

- 音量調整は本機の ▲ キー、 ▼ キーのみ有効です。無線機本体の音量つまみを有効にする場合は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 無線機本体の音量つまみを有効に設定した場合、電源を入れたときに大音量や小音量になることを防ぐため、あらかじめ音量つまみを中央の位置に合わせてください。
- 本機の ▲ キー、 ▼ キーのみ有効の場合でも、無線機本体の音量つまみを中央の位置に合わせることをおすすめします。


# 電源を入れる／切る

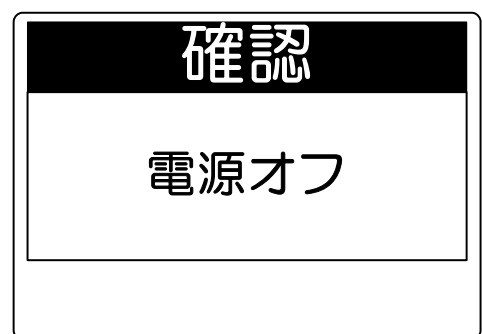
## ■電源を入れる

- 1 AC電源装置を使用している場合は、AC電源装置の電源スイッチをONにし、無線機本体の電源スイッチまたは、本機の  [電源・終話] キーを押す  
無線機本体の全てのランプが緑色に点灯した後、通話／予約ランプと送信／話中ランプは赤色点灯に変わり、本機の表示器が点灯します。



## ■電源を切る

- 1 無線機本体の電源スイッチまたは、本機の  [電源・終話] キーを1秒以上押す  
「電源オフ」と表示された後、電源ランプ以外の全てのランプが消灯し、電源キーを離すと電源ランプが消灯し、電源が切れます。その後、AC電源装置をOFFにします。  
●「電源オフ」と表示されている間は、キー操作を行わないでください。



## 参 考

- 電源を入れると、移動無線センターへ位置登録を行います。登録中は、無線機本体の送信／話中ランプと、本機の話中表示が点灯します。移動局情報が更新された場合は、「移動局情報をダウンロードしています」と表示されます。ダウンロード中は、無線機本体の送信／話中ランプが赤色に点滅します。

## 通話する（発信）

### 次の内容を確認してから通話してください

#### ◆圏内になっていますか

話中 圏外

・圏外と表示されているときは、mcAccess e のサービスの圏外です。アンテナの接続およびアンテナの方向を確認してください。

mcAccess e のサービス圏内（電波が届く地点）でもゾーンの設定が異なっているときは、「話中・圏外」が点灯し、通話できません。

ゾーンの設定については、「自ゾーンを切り替える」（P 44）を参照願います。

#### ◆電波の強い地域ですか



・マイクの表示部で電波の強さを確認してください。アンテナマーク2本以上が目安です。アンテナの接続及びアンテナの方向を確認してください。

#### ◆通信／接続先相手番号は正しいですか



10号車

・通話したい相手局を設定してから発信してください。

## 通話する（発信）（つづき）

### ■通信モードを切り替えて発信する

発信する通信モードに切り替えて、**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押して発信します。

#### 1 モードを切り替える

**モード** [モード] キーを押すことで全グループ→グループ→個別→一斉の順にモードを切り替えます。



#### 2 発信相手局を入力する

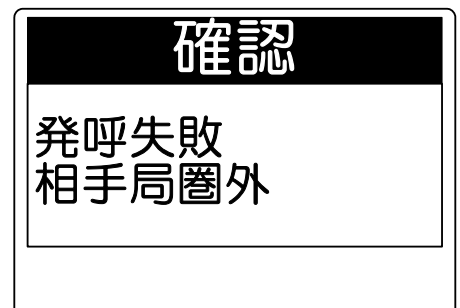
通信モードが、グループ、個別のとき、呼び出し先グループ番号、相手番号をテンキーより入力します。



#### 3 **プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押す 発信します。

接続が成功すると、本機の表示器に通話が点灯し、「ピピーッ」と鳴ります。

接続に失敗すると、「ブップッ」と鳴ります。



### 参 考

- グループ通信モードで、グループ番号をテンキーより入力するには、販売店での保守設定が必要です。

# 通話する（発信）（つづき）

## ■局番号帳を利用して発信する

### 1 局番号帳を呼び出す

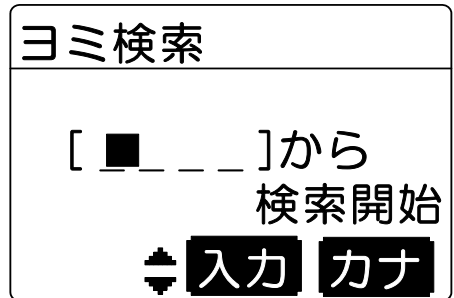
**[F4]**（**[F4]**）キーを押します。

ヨミ検索画面が表示されます。

呼び出したい局名称を入力（最大4文字）し、**[F5]** キーまたは **[F6]** キーを押します。

**[F7]** キーを押すごとに【カナ】→【英字】→【数字】と入力文字を切り替えます。

検索は、局番号帳登録のカナ順に従い、頭出し検索を行います。



### 2 接続する相手局の名称を選択する

**[F5]** キーまたは **[F6]** キーを押すと、選択局が替わります。2秒以上押し続けると3ページごとにスキップ表示されます。

**[F8]**（**[次頁]**）キーを押すと次ページを表示します。

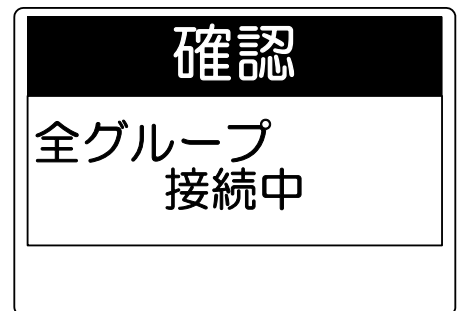
**[F9]**（**[前頁]**）キーを押すと前ページを表示します。

**[F10]**（**[選択]**）キーを押すとメニュー画面を表示します。



### 3 **[F11]**（**[プレス]**）キーまたは外部マイクのプレススイッチを押す

発信します。



## 通話する（発信）（つづき）

### 4 通話する

- ・こちらからの音声を送るときは

**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押しながら話す

本機の表示器に「送信」が表示され、「ピッ」と通話指示音が鳴ってからお話しください。

お話できない場合は「プップップ」と鳴ります。

- ・相手から音声を受けるときは

**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを離す

回線表示ランプが赤色に点灯し、相手局の名称または個別番号が表示され、音声が聞こえます。



#### 参 考

- 局番号帳から個別局を選択して発信するには、待ち受け画面の通信モードを個別に設定してください。
- 全グループ斉通信を行うには、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 個別通信中は、通信中にゾーンを切り替える場合があります。このとき「プププ」と鳴り、切替中であることを知らせます。
- 発信局は、通信の初めの2秒間送信しています。この間に **プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押して確実にお話ができるようにしています。

## 通話する（発信）（つづき）



無線機本体：通話／予約ランプ（橙）点灯  
 マイク：予約表示  
 鳴音：ピーポーパー

### ■回線表示ランプが橙色に点灯したら 予約状態です

回線が混み合っていて「通話」の許可がないときは、「ピーポーパー」と予約通知音が鳴り、「予約」しばらくお待ちください」と表示されます。予約が解除され、本機の表示が「通話」となり、「ピピーッ」と鳴ったら通話してください。



無線機本体：通話／予約ランプ（赤）点灯  
 マイク：圏外など表示  
 鳴音：プッププッ

### ■回線表示ランプが赤色に点灯したら 圏外または発信禁止状態です

中継局が接続を規制しているなど、発信ができない状態のときは、「通話」や「予約」にならず、「プッププッ」と鳴り、「発呼失敗」と表示されます。通信中などの場合は、失敗理由が表示されます。また、個別通信モードの発信で、相手局が通信中の場合は「プープー」と音が鳴り、「発呼失敗 相手局話中」などと表示されます。



## 通話する（着信）

通話を受けると、通話を受けたときの通信モード、相手局の名称または番号が表示され、各種着信音にてお知らせします。

通信モード	着信音
全グループー斉通信	ピーポーピーポー
全グループ通信	なし
グループ通信	なし
個別通信	ピッポー
システムー斉通信	ピーポーピーポー

※各種着信音は販売店の保守設定により異なります。

### 1 通話する

- ・こちらからの音声を送るときは  
**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押しながら話す  
 本機の回線表示が、「送信」となり、「ピッ」と通話指示音が鳴ってからお話しください。
- ・相手から音声を受けるときは  
**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを離す  
 本機の回線表示が「通話」となり、相手局の名称または個別番号が表示され、音声が聞こえます。



#### ■通話中の全グループー斉受信について

通話の途中で全グループー斉受信が行われると、通話は強制終了となり、全グループー斉の通話となります。この場合は、全グループー斉の通話となるまで予約状態となります。

#### ■システムー斉について

各移動無線センター（中継局）からの通知があったときに、鳴音にてお知らせします。

- 全グループー斉受信と同様に「ピーポーピーポー」と音が鳴ります。
- システムー斉通信中は、通話を受けるまたは録音する動作のみで、こちらから送信することができません。
- 通話の途中でシステムー斉受信が行われると、システムー斉の通話となるまで予約状態となります。

## 通話する（着信）（つづき）

---

### ■通話の終了について

#### ●終話について

通信制限時間が過ぎると終話になります。

通信制限時間終了の約10秒前に「ピッ」と終話予告音がなります。終話の際には「ポー」と終話音がなります。

単信通信時は通信制限時間内であっても、自局および相手局がともに送信していない時間が約5秒以上続くと終話になります。

トンネル内などで、電波が10秒以上届かないときも終話になります。

残時間表示は目安です。0秒と表示されてから終話まで、しばらく時間がかかる場合があります。

#### ●強制終話・切断について

通信中に通信を抜ける機能です。

全グループ、グループ通信中のとき

**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを離し、**電源終話** [電源・終話] キーを押します。

発信局は、相手局も同時に終話し、切断となります。

着信局は、自局のみ通信を終話します。

自局のみ終話する場合は、用件が済んだことを確認の上、ご自身の責任で操作してください。

※通信の初め6秒間は、終話操作できません。

個別通信中のとき

操作は全グループ、グループ通信と同様です。

個別通信のときは、相手局も同時に終話しますので切断という扱いになります。





※全グループ一斉、システム一斉の通信中では終話や切断はできません。

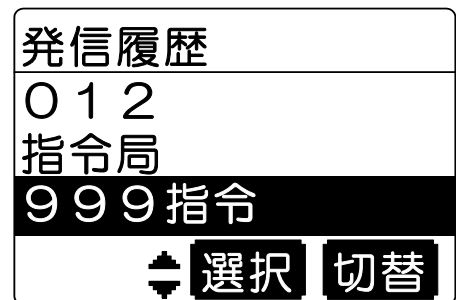
### 参 考

- 相手局の名称を表示するためには、あらかじめ販売店で保守設定が必要です。
- 個別通信中は、通信中にゾーンを切り替える場合があります。このとき「プププ」と鳴り、切替中であることを知らせます。
- 通信の初め2秒間は、発信局から優先的にお話しできるように自動的に発信局が送信します。




## 履歴から発信する

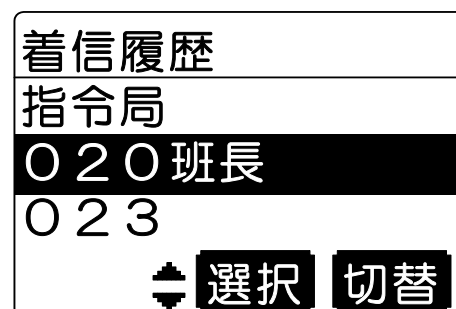
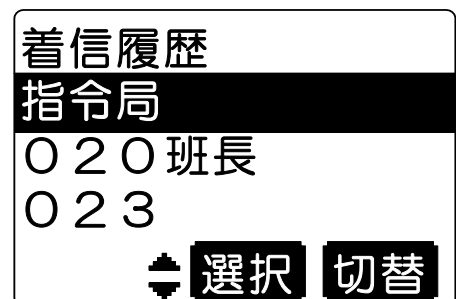
### ■発信履歴から発信する（リダイヤル）

- 1  (  ) キーを押す  
最新10件の発信相手局の名称、または通信モードと相手局の番号が表示されます。
- 2  キーまたは  キーを押し、発信相手局を選択する
- 3 **プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押す  
発信します。




### ■着信履歴から発信する（コールバック）

- 1 「発信履歴から発信する（リダイヤル）」の手順1 を操作して  ( **切替** ) キーを押す  
最新の10件の個別で呼び出された相手局の名称、または通信モードと相手局の番号が表示されます。
- 2  キーまたは  キーを押し、発信相手を選択する
- 3 **プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押す  
個別通信モードで発信します。



#### 参 考

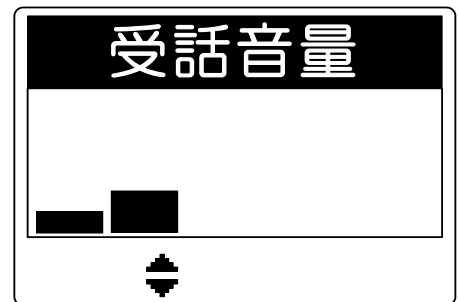
- 操作中に  [クリア] キーを押すと、全件削除され、「発信履歴を全件消去しました」と表示されます。
- 手順3で選択した相手局のユーザーが現在設定されているユーザーと異なる場合は、「ブップブッ」と鳴るか、キー誤操作音が鳴り、「ユーザーが異なります」と表示され、発信できません。

# 音量を調整する

## ■通話中に音量を調整する



- 1 ▲ キーまたは ▼ キーを押す  
現在の音量が表示されます。
- 2 ▲ キーまたは ▼ キーを押して音量を調整する  
▲ キーを押すと大きく、▼ キーを押すと小さくなります。  
約3秒後に、元の画面に戻ります。

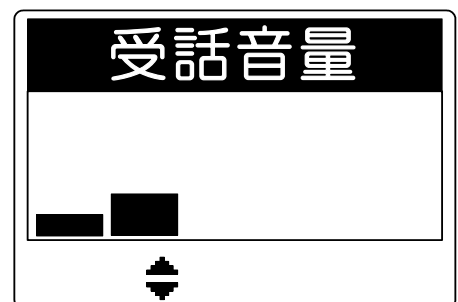


### 参 考

- 無線機本体の音量つまみは効きませんのでご注意ください。
- 無線機本体の音量つまみを使用する場合は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。無線機本体の音量つまみを使用している場合は、手順2で「音量調整はできません」と表示されます。無線機本体の音量つまみを回して調整してください。音量の調整の仕方は、無線機本体の取扱説明書をご覧ください。

## ■待ち受け中に音量を調整する

- 1 □ ( **メニュー** ) キーを押し、「9 音量調整」を選択し、  
□ ( **選択** ) キーを押す  
テンキーより **9** [9] キーを押すことでも選択できます。
- 2 ▲ キーまたは ▼ キーを押して音量を調整する  
▲ キーを押すと大きく、▼ キーを押すと小さくなります  
戻る [戻る] キーを2回押すと、元の画面に戻ります。



## 相手局から呼び出される（選択呼出）

相手局が折り返し連絡してほしいとき（相手局から選択呼出を受けたとき）、相手局の名称または番号が表示され、着信音（マルチコール）で知らせます。

<例>

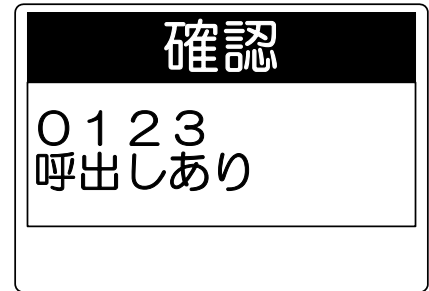
123号車から呼び出されたとき

### ■マルチコール（連続音）で呼び出されると

「ピッポー」と個別着信音が連続して鳴り、相手局の名称または番号が表示されます。

**プレス** [プレス] キー、外部マイクのプレススイッチまたは、いずれかのキーを押すとマルチコールが停止します。

マルチコールを受けたときは、**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押すだけで着信したモードで折り返し発信をすることができます。



### 参 考

- 本機能を使用するには、販売店での保守設定が必要です。
- 送信局の保守設定により、「ピッポー」を鳴らして終える、モノコール呼び出しが可能です。ただし、送ってきた相手局に折り返し発信することはできません。

## 不在着信

---

相手から個別呼び出しを受け応答しなかった場合、不在着信音になります。

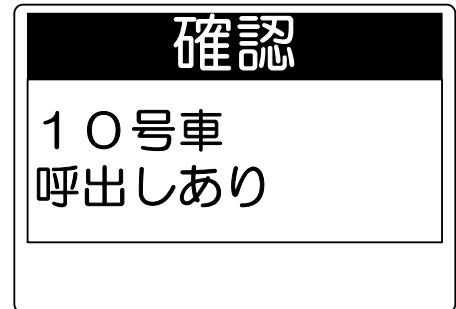
<例>

10号車から呼び出されたとき

「ピッポー」と個別着信音が連続して鳴り、相手局の名称または番号が表示されます。

**プレス** [プレス] キー、外部マイクのプレススイッチまたは、いずれかのキーを押すと不在着信音が停止します。

不在着信音を受けたときは、**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを押すだけで、個別通信モード折り返し発信をすることができます。






### 参 考


- 本機能を使用するには、販売店での保守設定が必要です。
- メールを着信した場合は、受信メール履歴のみ残り不在着信にはなりません。

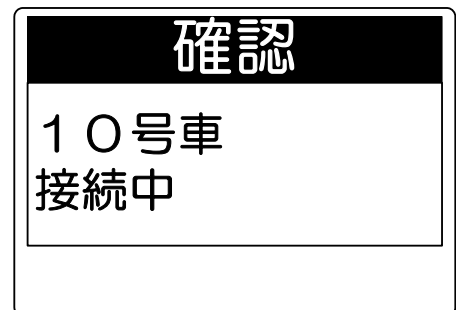
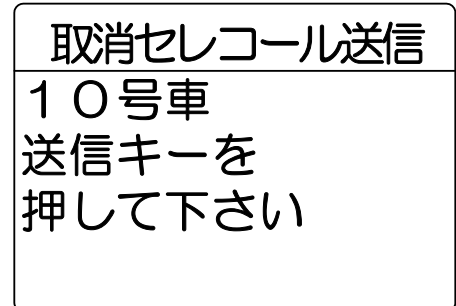
## 取消セレコール送信

着信音（マルチコール）と不在着信音鳴動を停止させることができます。

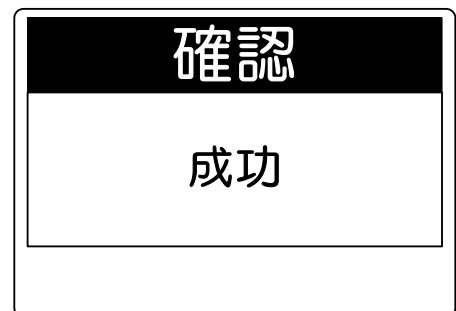
着信音（マルチコール）鳴動中に取消セレコールを受信すると、着信音鳴動が停止し、呼び出し画面のままとなります。

- 1  ( **メニュー** ) キーを押し「3取消セレコール送信」を選択し、 ( **選択** ) キーを押す。  
テンキーより  [3] キーを押すことでも選択できます。


- 2  [送信] キーを押す






数秒後

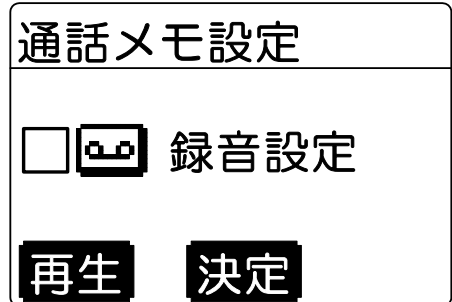



## 通話中の音声を録音／再生する（通話メモ）

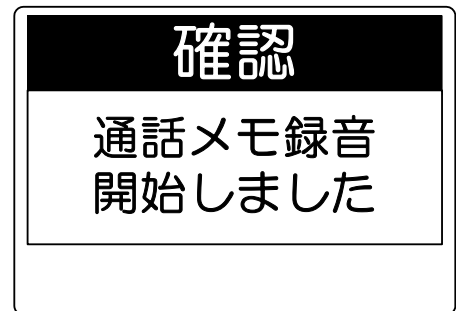
通話中に音声を録音したり、録音した音声を再生して聞くことができます。  
通話メモ設定中は  が表示されます。

### ■通話メモ録音を設定する（待ち受け中）




- 1 （**メニュー**）キーを押し、「7通話メモ設定」を選択し、（**選択**）キーを押す  
テンキーより  [7] キーを押すことでも選択できます。  
現在の設定が表示されます。  
（ が表示されている場合は、録音待機状態です）

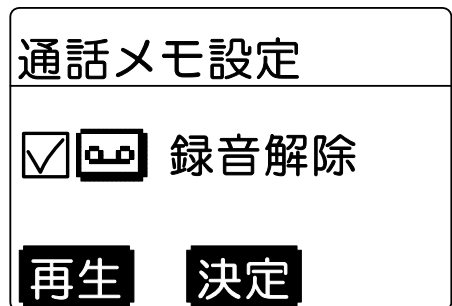



- 2 （**決定**）キーを押す  
「ブプブ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。  
録音待機状態です。通話が始まると、自動で録音が始まります。

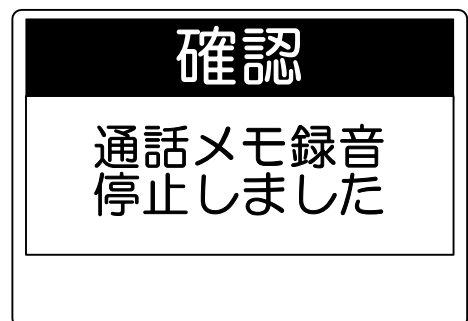


### ■通話メモ録音設定を解除する（待ち受け中）

- 1 （**メニュー**）キーを押し、「7通話メモ設定」を選択し、 **選択** を押す  
テンキーより  [7] キーを押すことでも選択できます。  
現在の設定が  で表示されます。



- 2 （**決定**）キーを押す  
「ブプブ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。






#### 参 考

- 単信通信の場合、お話しをしていない間は録音されません。
- 複信通信の場合は、相手局の音声のみ録音します。






## 通話中の音声を録音／再生する（通話メモ）（つづき）

### ■通話メモを録音する（通話中）

- 1  が消灯しているときは （**録音**）キーを押す（すでに  が表示されているときは録音実行中です。
  - 「通話メモ録音開始しました」と表示され、録音が始まります。  
通話内容は60秒間録音されます。60秒経過しても録音は停止せず、常に最新の60秒を録音し続けます。












### ■通話メモを録音停止する（通話中）

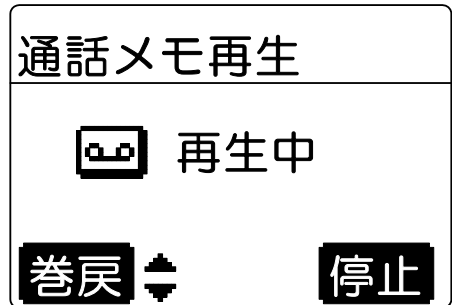
- 1  が消灯しているときは （**停止**）キーを押す
  - 「通話メモ録音停止しました」と表示され、録音が停止されます。  
過去60秒間の録音が保持されています。
  - 再度 （**録音**）キーを押すと、録音が再開されます。  
このとき、前回の録音内容は消去されます。



# 通話中の音声を録音／再生する（通話メモ）（つづき）

## ■通話メモを再生する

- 1 （**メニュー**）キーを押し、「6通話メモ再生」を選択し、（**選択**）キーを押す  
テンキーより  [6] キーを押すことでも選択できます。  
録音した音声は10秒前から再生されます。
  - 再生を行っている途中で中止したいときは、  
（**停止**）キーを押します。  
停止または終了すると通話メモ設定画面になります。  
再生をすると、通話メモ設定は解除されます。
  -  [機能] キーに再生を割り当てている場合は、  
 [機能] キーを押します。（あらかじめ販売店での保守設定が必要です。）
  - （**巻戻**）キーを押すと、20秒前、30秒前、60秒前から再生します。  
2秒以上押し続けると、先頭より再生します。
  - 再生中に個別通信を着信した場合は、通信になります。
  -  キーまたは  キーで音量を調整します。



### 参 考

- 通話メモの内容は、電源を切ると消去されます。ただし、無線機本体の設置のしかたにより、異なりますので、販売店にご相談ください。
- 録音時間は、販売店での保守設定により変更できます。

## 特定の相手局を呼び出す（選択呼出）

特定の相手局を呼び出し、相手局にマルチコールの鳴音をさせることができます。

### 1 局番号帳を呼び出す

**[F4]**（**[F4]**）キーを押します。

ヨミ検索画面が表示されます。

呼び出したい局名称を入力（最大4文字）し、**[F5]** キーまたは **[F6]** キーを押します。

**[F4]** キーを押すごとに【カナ】→【英字】→【数字】と入力文字を切り替えます。

検索は、局番号帳登録のカナ順に従い、頭出検索を行います。

ヨミ検索

[ ■ \_ \_ \_ ]から  
検索開始

**[F4]** **[F5]** **[F6]**

### 2 接続する相手局の名称を選択する

あらかじめ本体にメモリ登録してある場合は、**[F5]** キーまたは **[F6]** キーを押すごとに登録した番号が表示されます。

局番号帳

010

020 班長


023

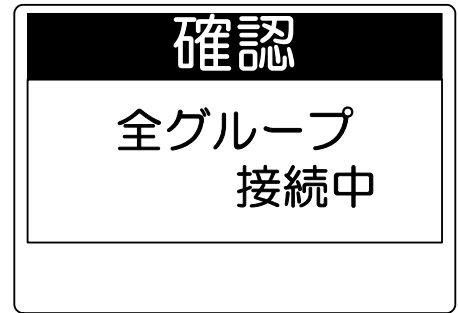
**[F4]** **[F5]** **[F6]**

#### 参 考

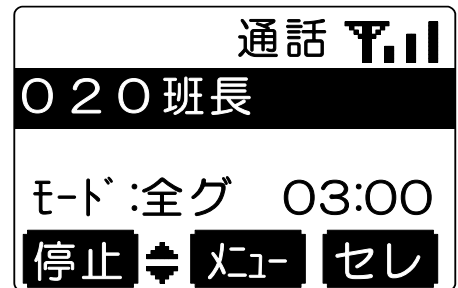
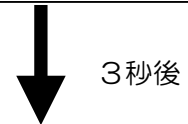
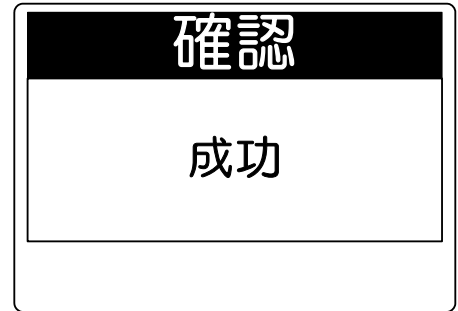
- 本機能を使用するためには、販売店での保守設定が必要です。
- 手順1で **[F4]**（**[F4]**）キーを押して、履歴から発信することもできます。

## 特定の相手局を呼び出す（選択呼出）（つづき）


3  [送信] キーを押す。



「ピッポー」と鳴り、相手局にマルチコールの鳴音をさせていることを知らせます。



### 参 考

- 手順2で、あらかじめ本体にメモリ登録していない場合は、テンキーで相手番号を入力し、 [送信] キーを押します。
- 相手局への選択呼び出しに失敗したときは、「ピーッ」と鳴り、相手局の名称または番号と、次のようなメッセージが表示されます。  
「送信失敗」……………相手局が受信できなかったとき  
「他局呼出中」……………相手局が他の無線局からの選択呼出を受けていて、マルチコール中のとき
- 相手局にモノコール鳴音をさせるには、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。

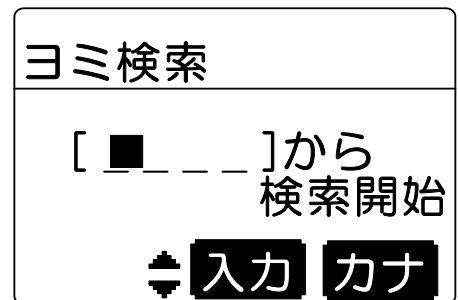
## 特定の相手局を呼び出す（選択呼出）（つづき）

### ■通信中にセレコールを送る

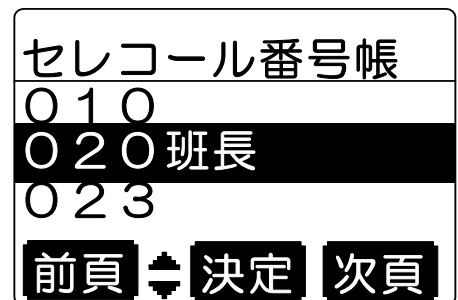
- 1 通信中に、**☐**（**セレ**）キーを押す  
送信メニューを表示します。



- 2 セレコール番号帳を呼び出す  
ヨミ検索画面が表示されます。  
呼び出したい局名称を入力（最大4文字）し、**▲** キーまたは **▼** キーを押します。  
**☐** キーを押すごとに【カナ】→【英字】→【数字】と入力文字を切り替えます。  
検索は、局番号帳登録のカナ順に従い、頭出検索を行います。



- 3 接続する相手局の名称を選択する  
**▲** キーまたは **▼** キーを押すと、選択局が替わります。  
2秒以上押し続けると3ページごとスキップ表示されます。  
**☐**（**次頁**）キーを押すと次ページを表示します。  
**☐**（**前頁**）キーを押すと前ページを表示します。  
**☐**（**決定**）キーを押すとセレコールを送ります。



















### 参 考

- 手順3であらかじめ本体にメモリ登録していない場合は、テンキーで相手局番号を入力し、**送信** [送信] キーを押します。




# 伝言メモ、メールを送る

## ■相手局に伝言メモを送る

- 1  (  ) キーを押す  
ヨミ検索画面が表示されます。  
呼び出したい局名称を入力し  キーまたは  キーを押します。
- 2 接続する相手局の名称を選択する  
あらかじめ本体にメモリ登録してある場合は、 キーまたは  を押すごとに登録した名称が表示されます。
- 3  (  ) キーを押す
- 4  キーを押し、「2 伝言メモ」を選択し、 (  ) キーを押す  
テンキーより  [2] キーを押すことでも選択できます。
- 5  [送信] キーを押す

ヨミ検索
[  _ _ _ ]から 検索開始
 入力 

局番号帳
0 1 0
1 0号車
0 2 3
  選択 

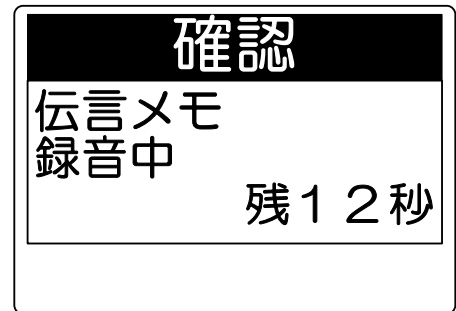
メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消コール送信
  選択 

伝言メモ送信
1 0号車
送信キーを 押して下さい

確認
1 0号車 接続中

## 伝言メモ、メールを送る (つづき)

- 6 呼び出し成功音「ピッポー」が鳴ったら、  
**プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチを  
 押し、「ピッ」と鳴ったら話す  
 残時間カウント中は、録音できます。  
 録音時間は約20秒です。



- 7 終了する場合は、**プレス** [プレス] キーまたは外部マイク  
 のプレススイッチを離す

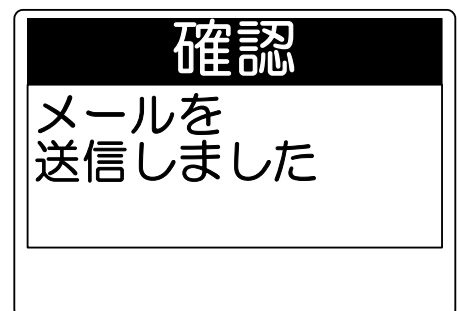
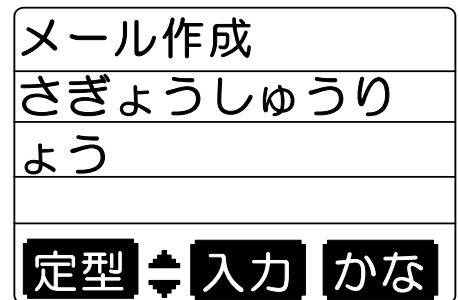
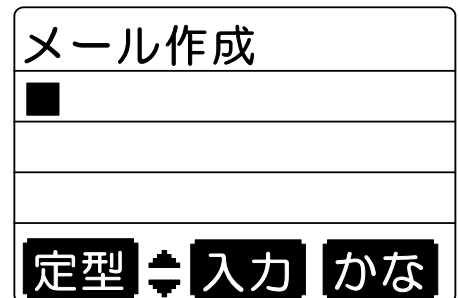
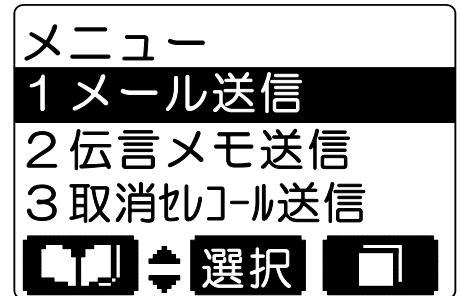
### 参 考

- 手順2で、あらかじめ本体にメモリ登録していない場合は、テンキーで相手局番号を入力し、メニューから伝言メモ送信を選択します。
- 伝言メモ録音に失敗したときは、「ピーッ」と鳴り、次のようなメッセージが表示されます。  
 「送信失敗」 ……………相手局がサービスエリア外や電波の弱い地域にいるため受信できなかったとき  
 「メール空なし」 ……………相手局にすでに伝言メモが全て録音されているとき  
 「機能なし」 ……………相手局がスピーカーマイクや、伝言メモ受信をしない設定の無線機の場合
- 録音時間、録音件数は販売店での保守設定によります。

## 伝言メモ、メールを送る（つづき）

### ■相手局にメールを送る

- 1 P38の手順1～3の操作をして  
 ▼ キーを押し、「1メール送信」を選択する  
 テンキーにより **1あ** [1]キーを押すことでも選択できます。
- 2 テンキーよりメッセージを入力する  
 □ キーを押すごとに、【かな】→【カナ】→【英字】→【数字】と入力するモードが切り替わります。  
 □ キーを押すと定型メッセージを表示します。
- 3 送信メール本文を作成します  
 最大24文字まで入力できます。
- 4 **送信** [送信] キーを押す  
 「ピッポー」と鳴り、相手局にメールを送ったことを知らせます。



#### 参 考

- 手順3で **クリア** [クリア] キーを押すと、1文字ずつ消去されます。
- クリア** [クリア] キーを押し続けると入力文字全て消去します。



## 伝言メモ、メールを送る (つづき)

### ■メールを再度送信するには

- 1 **□** ( **メニュー** ) キーを押し、「5送信メール履歴」を選択し、**□** ( **選択** ) キーを押す  
 テンキーより **5**<sub>JKL</sub> [5] キーを押すことでも選択できます。  
 送信したメールを確認できます。  
 送信成功した場合はO、送信失敗した場合は×が表示されます。

送信メール履歴
○999 指令
×020 班長
<b>⇄</b> <b>選択</b> <b>切替</b>

- 2 **▲** キーまたは **▼** キーを押し、再度送信したいメールを選択し、**□** ( **選択** ) キーを押す

送信メール本文
さぎょうしゅうり よう
<b>⇄</b> <b>発呼</b> <b>再送</b>



- 3 **□** ( **再送** ) キーを押す

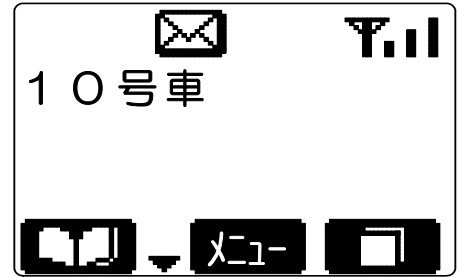
「送信失敗」 …………… 相手局がサービスエリア外

### 参 考




- メール送信に失敗したときは、「ピーッ」と鳴り、次のようなメッセージが表示されます。  
 「送信失敗」 …………… 相手局がサービスエリア外や電波の弱い地域にいるため受信できなかったとき  
 「メール空なし」 …………… 相手局にすでに伝言メモが全て録音されているとき  
 「機能なし」 …………… 相手局がスピーカーマイクや、伝言メモ受信をしない設定の無線機の場合
- 手順1, 2で **□** [クリア] キーを押すと、1件ずつ消去されます。
- 手順2で **□** ( **発呼** ) キーを押すと、相手局あてに発信します。
- 手順1で **□** ( **切替** ) キーを押すと、受信メール画面へ切り替わります。

## 伝言メモ、メールを確認する

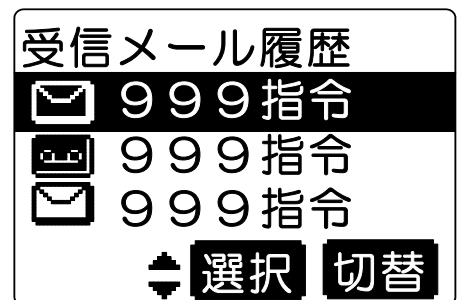
相手局からの伝言メモ、メールを確認することができます。  
確認していない伝言メモ、メールがある場合は  が点灯されます。メールが一杯の場合には  が点灯します。








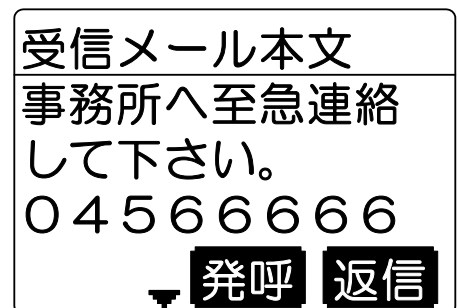
### ■届いたメールを確認する




- 1  ( **メニュー** ) キーを押し、「4受信メール履歴」を選択し、 ( **選択** ) キーを押し。  
テンキーより  [4] キーを押すことでも選択できます。  
伝言メモまたはメールを送ってきた相手局の名称または番号が表示されます。

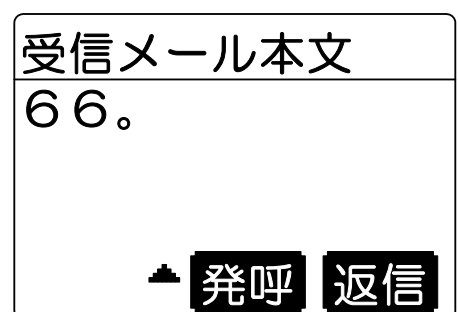
	未確認	確認済
伝言メモ		
メール		




- 2  キーまたは  キーで確認したいメール (  または  ) を選択し、 ( **選択** ) キーを押し



- 3  キーを押し、次のページを表示する
  -  ( **返信** ) キーを押すと、メール作成 ( P 4 0 ) して相手局に返信できます。
  -  ( **発呼** ) キーを押すと、相手局あてに発信します。

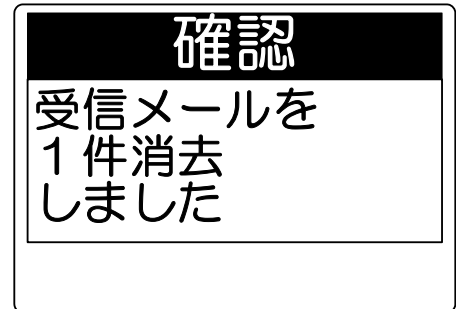


- 4  [戻る] キーを押し  
メール確認を終了し、元の画面に戻ります。

## 伝言メモ、メールを確認する (つづき)

### ■届いたメールを消去する

- 1 「届いたメールを確認する」の手順2, 3でメール表示中に **クリア** [クリア] キーを押す

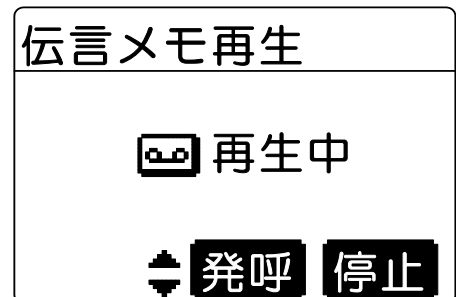


#### 参 考

- 確認済みのメールは、P 4 2の手順1でも消去できます。
- P 4 2の手順1で **切替** ( **切替** ) キーを押すと、送信メール履歴画面へ切り替わります。

### ■伝言メモを再生する

- 1 「P 4 2の手順1 を操作して **再生** キーまたは **停止** キーを押し、再生したい伝言メモ ( **再生** または **停止** ) を選択し、**選択** ( **選択** ) キーを押す  
伝言メモが再生されます。  
再生が終了すると、P 4 2の手順1 の画面に戻ります。



### ■伝言メモを消去する

- 1 伝言メモ再生画面で **クリア** [クリア] キーを押す  
P 4 2の手順1 の画面に戻ります。

#### 参 考

- 伝言メモの受信件数は、販売店での保守設定により変更できます。
- 再生を途中で停止するときは、**停止** ( **停止** ) キーを押してください。
- 発呼** ( **発呼** ) キーを押すと、再生が止まって相手局あてに発信します。

# 自ゾーンを切り替える

ゾーンを切り替えて通信することができます。

- 1 **□** ( **メニュー** ) キーを押し、「8自ゾーン切替」を選択し、**□** ( **選択** ) キーを押す  
テンキーより **8** TV [8] キーを押すことでも選択できます。  
現在の設定が  で表示されます。

自ゾーン切替
<input checked="" type="checkbox"/> ホーム優先
<input type="checkbox"/> 感度優先
<input type="checkbox"/> 北新横浜
<b>決定</b>

- 2 切り替えたいゾーンを選択する  
**▲** キーまたは **▼** キーを押すと、選択ゾーンまたは切替方法が替わります。2秒以上押し続けると3ページごとにスクロール表示されます。

自ゾーン切替
<input checked="" type="checkbox"/> ホーム優先
<input type="checkbox"/> 感度優先
<input type="checkbox"/> 北新横浜
<b>決定</b>

- 3 **□** ( **決定** ) キーを押す  
「プププ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。

<b>確認</b>
ゾーン設定を しています

▼ 1秒後

<b>確認</b>
感度優先を 設定しました

## 参 考


- 感度優先  
電波の強いゾーンへ自動的に切り替わります。
- ホーム優先  
ホームゾーンのエリアでは、ホームゾーンへ切り替えます。ホームゾーン以外のエリアでは、電波の強いゾーンへ切り替わります。
- ゾーンを切り替えるには、複数ゾーンサービスへの加入が必要です。
- ▲** キーまたは **▼** キーで表示されるゾーン名称は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 手順3でゾーン設定している間は、回線表示ランプが赤色に点灯し、発信、着信ができません。その際、しばらく時間がかかる場合があります。

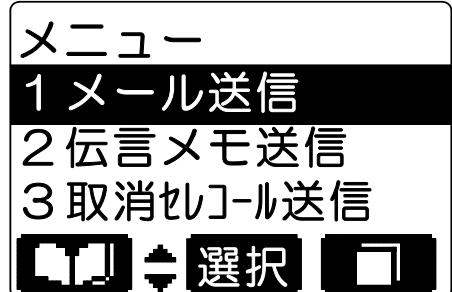
## 広域接続先を切り替える




接続先を指定し、他のゾーンにいる無線局と通信することができます。  
 接続先のゾーンは、あらかじめ局番号帳に設定しておくことができます。  
 局番号帳の設定により、接続先のゾーンを切り替えることができます。

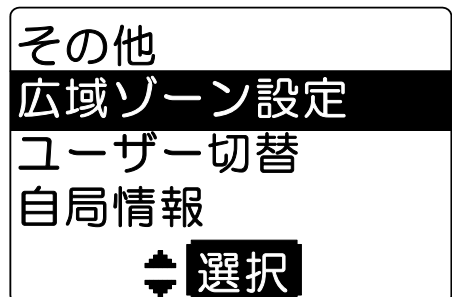
### ■広域接続先を変更する

例) 広域接続先を「横浜」から「北新横浜」へ変更する場合

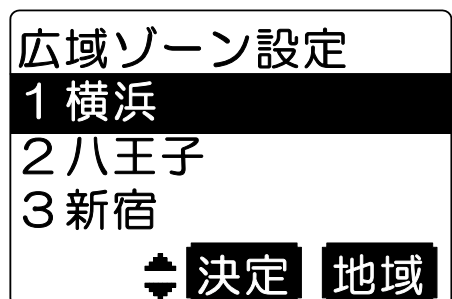
1  (メニュー) キーを押す








2  キーまたは  キーを押し、「0その他」を選択する  
 テンキーより  [0] キーを押すことでも選択できます。

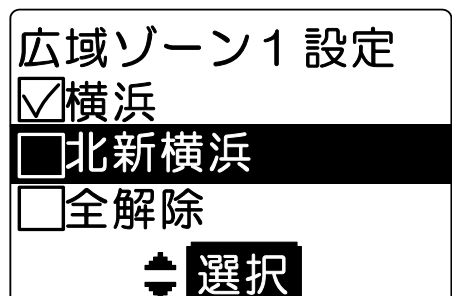


3 広域ゾーン設定を選択し  (選択) キーを押す  
 現在設定中の広域接続ゾーン名称または番号が表示されます。




4  キーまたは  キーで変更したいゾーン番号を選択し、 (地域) キーを押す  
 現在の設定が  で表示されます。

5 設定したいゾーンを選択する  
 キーまたは  キーを押すと、選択ゾーンが変わります。  
 2秒以上押し続けると3ページごとにスキップ表示されます。



## 広域接続先を切り替える (つづき)

6 **□** ( **選択** ) キーを押す

広域ゾーン設定	
1	北新横浜
2	八王子
3	新宿
 <b>決定</b> <b>地域</b>	

7 **□** ( **決定** ) キーを押す


確認	
広域ゾーンを 設定しました	

### 参 考

- 広域接続で通信するには、広域接続サービスへの加入が必要です。
- 接続先ゾーン最大数は、地域によって異なります。
- 表示するゾーン名称は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 「全ゾーン」を選択すると、2ゾーン目、3ゾーン目の設定は解除されます。
- ご使用中に、基地局からの情報により、ゾーンが増える場合があります。

### ■広域接続先を解除する

1 P45の手順5で「全解除」を選択し、**□** ( **選択** ) キーを押す

広域ゾーン設定	
1	
2	
3	
 <b>決定</b> <b>地域</b>	

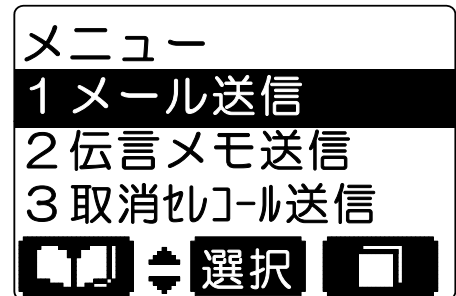
2 **□** ( **決定** ) キーを押す  
「ブープ」と鳴り、解除されたことを知らせます。




確認	
広域ゾーンを 設定しました	

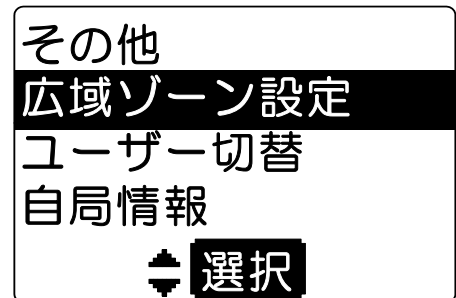
## ユーザーを切り替える


ユーザーが複数ある場合、ユーザーを切り替えて通信することができます。

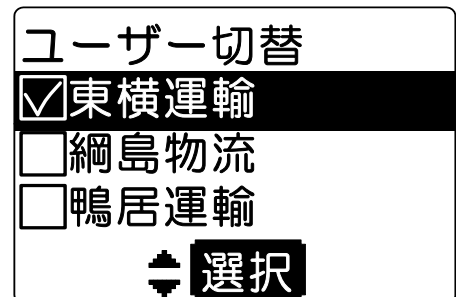
1  (メニュー) キーを押す





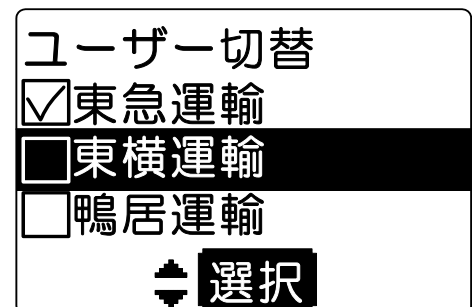
2  キーまたは  キーを押し、「0その他」を選択する  
テンキーより  [0] キーを押すことでも選択できます。



3 「ユーザー切替」を選択し  (選択) キーを押す  
現在の設定が  で表示されます。  
ユーザーの名称または番号が表示されます。



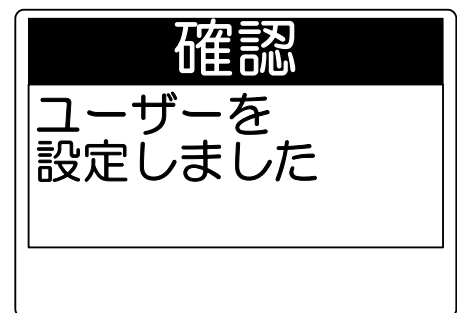
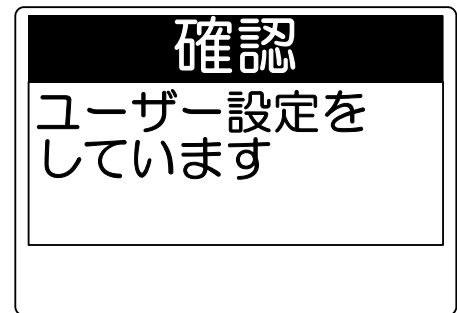
4  キーまたは  キーを押し、切り替えたいユーザーを選択する





## ユーザーを切り替える (つづき)

### 5 (決定) キーを押す

「ブープ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。






#### 参 考




- 移動局情報の更新などにより、ユーザーが変更される場合があります。  
ユーザーの内容が変更された場合、「ピーッ」と鳴り、「注意ユーザー切替をしてください」と表示されます。  
選択していたユーザーが抹消された場合、「ピーッ」と鳴り、「注意ユーザー切替をしてください」と表示されます。
- ユーザーを切り替えるには、複数ユーザーサービスへの加入が必要です。
-  キーまたは  キーで表示されるユーザー名称は、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。
- 手順5でユーザー設定している間は、回線表示ランプが赤色に点灯し、発信、着信ができません。その際、しばらく時間がかかる場合があります。
- 複数待受サービスに加入しているユーザーを選択すると、自動的に着信ユーザー（サブユーザー）設定されます。





## 自局情報を確認する


1  (メニュー) キーを押す


メニュー
<b>1 メール送信</b>
2 伝言メモ送信
3 取消コール送信
  <b>選択</b> 


2  キーまたは  キーを押し、「0その他」を選択する  
テンキーより  [0] キーを押すことでも選択できます。

その他
<b>広域ゾーン設定</b>
ユーザー切替
自局情報
 <b>選択</b>


3 「自局情報」を選択し  (選択) キーを押す  
自局の情報が表示されています。  
ユーザー：現在使用しているユーザー名称または番号  
自　　ゾ：自ゾーン  
          自局が現在位置するゾーン  
自　　番：自局の個別番号


自局情報
ユーザー：綱島物流
自ゾ：横浜
自番：0009
 <b>確認</b>


4  キーを押す  
自局が着信するグループ番号が表示されます。

自局情報
着グループ
・010
・300
 <b>確認</b>

## 自局情報を確認する (つづき)

- 5  キーを押す  
移動局機体番号が表示されます。

自局情報
移動局機体番号
02-00
00001525
 <b>確認</b>

- 6  (**確認**) キーを押す  
待受画面に戻ります。

### 参 考

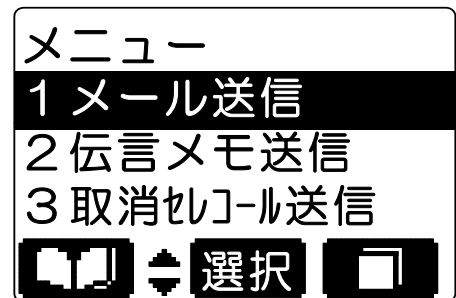
- 複数ユーザー待受設定されている場合は、着信ユーザーの情報が手順4で表示されます。




サ                   ブ：着信ユーザー（サブユーザー）の名称または番号  
サ                   番：着信ユーザー（サブユーザー）の個別番号  
サブ着信グループ：着信ユーザー（サブユーザー）の着信グループ番号

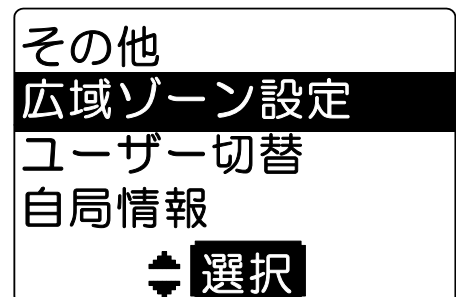
# コントラストを調整する


本機のLCD表示のコントラストを調整することができます。

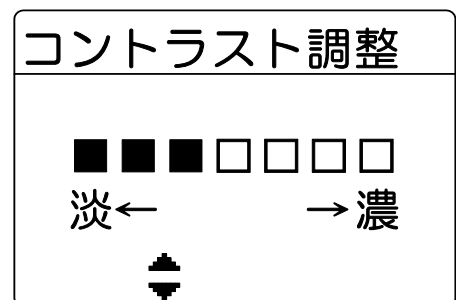
- 1  (メニュー) キーを押す








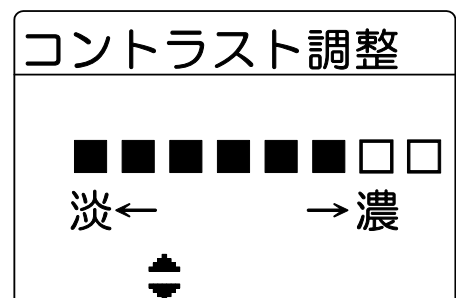
- 2  キーまたは  キーを押し、「0その他」を選択する  
テンキーより  [0] キーを押すことでも選択できます。




- 3 「コントラスト調整」を選択し、 (選択) キーを押す  
現在のコントラスト値が表示されます。




- 4  キーまたは  キーを押し、コントラスト調整する  
 キーを押すと濃く、 キーを押すと淡くなります。  
 キーを3回押すと、1マス変わります。



- 5  [戻る] キーを3回押す  
待ち受け画面に戻ります。




## 詳細確認

局番号帳に登録された情報の詳細を表示します。

- 1 P22の手順1、2で詳細確認する局を選択し、  
 ( **選択** ) キーを押す



メニュー  
 1 メール送信  
 2 伝言メモ送信  
 3 取消コール送信

  **選択** 

- 2  キーまたは  キーを押し、「0その他」を選択する  
 テンキーより  [0] キーを押すことでも選択できます。

その他  
 広域ゾーン設定  
 ユーザー切替  
 自局情報

 **選択**

- 3 「詳細確認」を選択し  ( **選択** ) キーを押す  
 通信モード、ユーザー、存在圏内であるゾーン、広域接続先ゾーンを表示します。  
 ( **発呼** ) キーを押すと、相手局に発信します。

10号車  
 モード：個別 0010  
 ユーザ：ユーザ01  
 自ゾ：ゾーン02

 **発呼**

# グループ設定

送信先グループ番号、待ち受け着信グループ番号を設定します。

- 1 **☐** (**メニュー**) キーを押し、「\*グループ設定」を選択し、**☐** (**選択**) キーを押す  
テンキーより **☐** [\*] キーを押すことでも選択できます。

グループ設定  
グループ番号を  
入力して下さい

**決定**

- 2 テンキーでグループ番号を入力します

グループ設定

100

**決定**

- 3 **☐** (**決定**) キーを押す  
「ブープ」と鳴り、待ち受け画面に戻ります。  
送信先グループ番号が設定されます。  
待ち受ける着信グループが設定した相手に変わります。

**確認**

グループ設定  
をしました

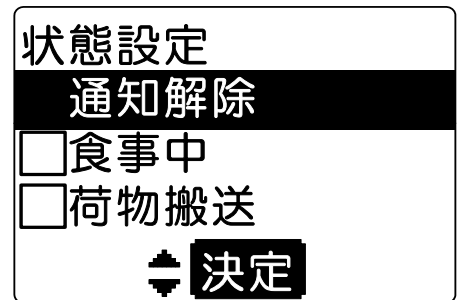
## 参 考

- グループ設定するには、販売店での保守設定が必要です。

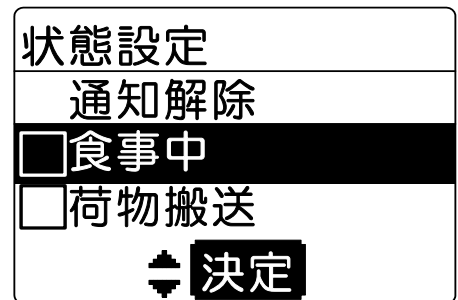
# 状態を設定する

## ■状態を設定する

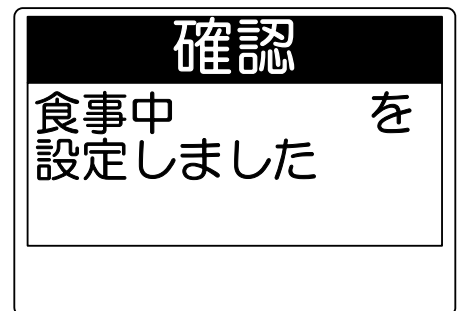
- 1 **□** (**メニュー**) キーを押し、「#状態設定」を選択し、**□** (**選択**) キーを押す  
 テンキーより **#** [ # ] キーを押すことでも選択できます。  
 現在の設定が  で表示されます。



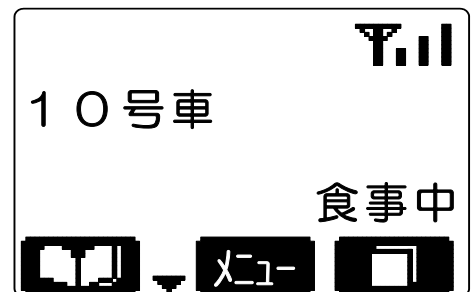
- 2 **▲** キーまたは **▼** キーを押し、状態を選択する



- 3 **□** (**決定**) キーを押す  
 「ブープ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。



約3秒後に待ち受け画面に戻ります。




### 参 考

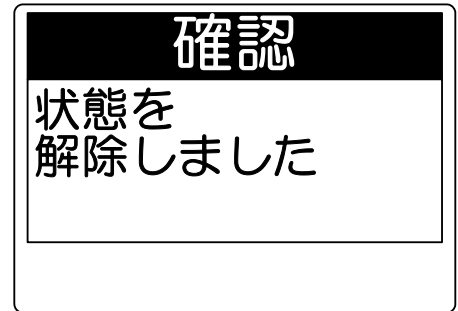
- 待ち受け画面に状態を表示するには、販売店での保守設定が必要です。
- 自局の状態をコントロールステーションに知らせることができます。
- 設定により、状態を設定すると、自動発呼することもできます。販売店にご相談ください。

## 状態を設定する (つづき)

---

### ■状態の設定を解除する



- 1 P54の手順2で「通知解除」を選択し、 (決定) キーを押す  
「ブブブ」と鳴り、設定が完了したことを知らせる。



## キーロック設定・解除



キーロック設定・解除を設定できます。

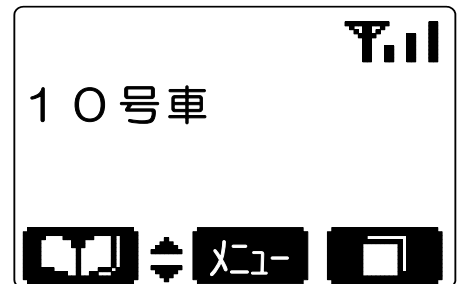
### ■キーロックを設定する

- 1 待ち受け画面で  [#] キーを1秒以上押す  
「プププ」と鳴り、「」が表示され、設定が完了したことを知らせます。







### ■キーロックを解除する

- 1 待ち受け画面または通話画面で  [#] キーを1秒以上押す  
「プププ」と鳴り、「」が消え、解除が完了したことを知らせます。



### 参 考

- 待ち受け画面でのキーロック中は **プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチ、 [電源・終話] キー以外は無効です。
- 通話画面でのキーロック中は **プレス** [プレス] キーまたは外部マイクのプレススイッチ、 [電源・終話] キー、 キー  キー以外は無効です。



## ケタ数／件数一覧

設定項目	登録範囲（最大）	登録件数（最大）
移動局番号（個別番号）	5ケタ（1～16383） 3ケタ（1～999）	—
グループ番号	3ケタ（1～999）	—
相手局名称	全角5文字	100件
よみかな	カナ、英数字4文字	
再発信可能な履歴		発信履歴10件 着信履歴10件
ユーザー名称	全角5文字	24件
無線ゾーン名称	全角5文字	300件
状態通知内容	全角5文字	20件
定型文内容	全角12文字	30件
受信メール内容	全角96文字	10件
送信メール	全角24文字	10件

・各種登録範囲、登録件数は販売店の保守設定により異なります。

# メッセージ一覧

本機で表示されるメッセージは、以下の通りです。

メッセージ内容	説明	メッセージ内容	説明
機体番号NG	移動局機体番号未実装時	ユーザーが 異なります	発呼（送信）時ユーザーが異なる 場合
移動局情報を 抹消しました	移動局情報抹消時	メールを 送信しました	メール送信時
移動局情報を 停止しました	移動局情報全ユーザー停止時	成功	セレコール、取消セレコール送信 時
注意 ユーザー情報を 更新しました	ユーザー情報自動更新時	伝言メモ 録音中 残り**秒	伝言メモ送信時
注意 ユーザー切替を してください	ユーザー情報切替警告時	○○○○○ メール空なし	メール、伝言メモ送信時
移動局情報を ダウンロード しています	電源投入時	○○○○○ 他局呼出中	セレコール、伝言メモ送信時
伝言メモ 録音中 残り**秒	伝言メモ受信時	○○○○○ 機能なし	メール、伝言メモ、セレコール送 信時
○○○○○ 呼出あり	セレコール受信時 不在着信時	○○○○○ 送信失敗	
○○○○○ 接続中	相手局表示時	電源オフ	電源切断時
接続中	相手局無表示時 （グループ、全グループ、全グル ープを発呼したとき）	ユーザー設定を しています	ユーザー設定中
予約 しばらく お待ち下さい	発呼予約	ゾーン設定を しています	自ゾーン設定中
発呼失敗 相手局圏外	個別発呼の相手局圏外	音量調整は できません	無線機本体の音量つまみを使用 時
発呼失敗 相手局話中	個別発呼の相手局話中	ユーザーを 設定しました	ユーザー設定時
発呼失敗	その他の発呼失敗	ユーザー設定に 失敗しました	ユーザー設定を失敗

## メッセージ一覧 (つづき)

メッセージ内容	説明	メッセージ内容	説明
履歴が1件もありません	履歴なし	未確認メールのため消去できません	受信メール消去不可 (未読のため)
発信履歴を全件消去しました	発信履歴消去	〇〇〇〇〇を設定しました	状態設定 自ゾーン切替ゾーン指定 設定時
着信履歴を全件消去しました	着信履歴消去	状態を解除しました	状態解除時
送信メールはありません	送信メールなし	通話メモ録音開始しました	通話メモ録音設定時
受信メールはありません	受信メールなし	通話メモ録音停止しました	通話メモ録音解除時
送信メールを1件消去しました	送信メール消去	ホーム優先を設定しました	自ゾーン切替設定時 (ホーム)
受信メールを1件消去しました	受信メール消去	感度優先を設定しました	時ゾーン切替設定時
送信メールを全件消去しました	送信メール全件消去	ゾーン設定に失敗しました	自ゾーン設定失敗時
受信メールを全件消去しました	受信メール全件消去	広域ゾーンを設定しました	広域ゾーン切替設定時

## 参 考

●メッセージ画面は、基本的に最新のものが優先されます。

例外としてマルチコール受信時のセレコール受信画面だけは優先順位があり、上書きされません。ただし、セレコール受信画面で警告表示画面 (ユーザー情報更新) の場合は、上書きされます。

# 保守

---

## ■ 日常の保守

- 本体の取り付けがゆるんでいないか、アンテナ、電源ケーブル、マイク、接続ケーブルは確実に接続されているか確認してください。
- mcAccess e サービスエリア内で通話に支障がないか注意してください。
- 本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。  
アルコールやシンナーでふくと、塗装がはげたり、くもりが生じたりすることがありますので使わないでください。

## ■ 定期保守

- 年に1回は、サービス担当会社で定期点検を受けるようにしてください。

## 故障と思われる前に

### ■ちょっとお調べください

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●AC電源装置の電源スイッチは入っていますか？</li> <li>●電源ケーブルがはずれていませんか？</li> <li>●AC電源装置の電源プラグがはずれていませんか？</li> <li>●AC電源装置のヒューズが切れてはいませんか？</li> <li>●ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？</li> <li>●無線機との接続ケーブルがはずれていませんか？</li> </ul>
圏内にならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナケーブルは接続されていますか？</li> <li>●アンテナの方向はあっていますか？</li> <li>●登録ゾーンは合っていますか？ (複数ゾーンを使用している場合)</li> </ul>
音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の音量調整が最小になっていませんか？</li> <li>●無線機本体の音量つまみを、左一杯に（音量最小）回していませんか？（設定により、無線機本体の音量つまみが有効の場合）</li> <li>●AC電源装置のスピーカーケーブルがはずれていませんか？</li> <li>●スピーカーオンオフスイッチが「オフ」になっていませんか？ (スピーカーオンオフスイッチを使用している場合)</li> <li>●ヘッドセットの場合コネクタがしっかり差し込まれていますか？（ヘッドセット使用の場合）</li> </ul>
相手に音声聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機のプレスキーを押して、外部マイク側で話していませんか？</li> <li>●外部マイクのプレススイッチを押して、本機に接続してあるマイクで話していませんか？</li> <li>●マイクコネクタはしっかり差し込まれていますか？</li> </ul>
受信音声が小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発信側でのマイク利用の際、マイクから口を遠く離して使用していませんか？</li> <li>●ヘッドセットの場合ボリュームが絞ってありませんか？</li> </ul>
受信音声が割れる、歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発信側でのマイク利用の際、マイクに口を近づけすぎて使用していませんか？</li> </ul>
無線機が温かくなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通話を続けていると温度が上昇します。</li> </ul>
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発信側が、電波が弱い地域や移動しているときは音が途切れることがあります。</li> </ul>

### ■すぐに販売店に

- 以下のような状態のときは無線機本体とAC電源装置の電源スイッチを切り、AC電源装置の電源プラグも抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
  - 1) 運用中に焦げくさい臭いがする。
  - 2) ヒューズがたびたび切れる。
  - 3) 誤って水や異物を入れてしまった。

## 用語・機能一覧

無線機・無線局	
移動局	車載用として使用する無線局
管理移動局	営業所などの固定された場所で使用し、通信の管理を行う無線局
通信モード	
個別通信	1対1の通信
グループ通信	全体を特定の小グループに分けて行う通信
全グループ通信	同一ユーザーの無線局が行う通信
全グループ斉通信	同一ユーザー内の全ての通信を終了し、管理移動局が優先通話を行う全グループ通信
システム斉通信	移動無線センターからの通信
通信形態	
単信通信	プレススイッチを押して通信する通信形態
複信通信	プレススイッチを押さなくても電話機と同様の双方向通信ができる通信形態
半複信通信	発信側は複信通信、着信側は単信通信となる通信形態
広域通信	ゾーン（通話範囲）やユーザーを切り替えて行う広範な通信
ユーザー	
ユーザー	同一のユーザーコードを持つユーザー
ユーザー切替	自局が所属しているユーザーの切替
グループ	
グループ	ユーザー内をいくつかに分けた小団体
所属グループ番号	自局が所属するグループの番号
ゾーン	
ゾーン	1つの中継局の通話範囲
自ゾーン	現在自局が位置するゾーン
ホームゾーン	自局が通常所属するゾーン
広域接続	現在自局が位置するゾーン（通話範囲）以外のゾーンと接続し、通話やデータ伝送を行う通信
ゾーン切替	自ゾーンの切替
その他	
伝言メモ	不在の相手局に伝えたい情報を録音する機能
メール	文字メッセージを送る機能
通話メモ	通話の途中で残しておきたい内容を録音し、必要に応じて再生する機能
選択呼出	特定の相手のみを呼び出し、呼び出された相手局では着信音が鳴り続ける機能
マルチコール	着信音（ピッポー）が鳴り続ける機能
モノコール	着信音（ピッポー）を鳴らす機能
不在着信	個別通信で呼び出された相手局が応答しない時、着信音（ピッポー）が鳴り続ける機能
不在着信音	着信音（ピッポー）が鳴り続ける機能

## 仕様

寸 法	約180mm (w) ×約185mm (D) ×約70mm (H) 突起物を除く
質 量	約0.8kg (接続ケーブルを除く)
消 費 電 流	100mA以下
マイク入力レベル	外部マイク：-40±3dBm又は-10dBm±3dBm マイク (感度高)：-36±3dBm (通常) マイク (感度低)：-46±3dBm
音声出力レベル	-10±3dBm
信 号 速 度	シリアル (独立同期式) 9600bps

## 保障とアフターサービス

### ■保証書

- 必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。  
保障期間はお買い上げ日から1年間です。

### ■保証期間中の修理

- 「故障と思われる前に」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを切って、お買い上げの販売店へご相談ください。  
保証書の規定に従って修理させていただきます。

### ■保証期間後の修理

- お買い上げの販売店にご相談ください。

## 保証書

この保証書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には保障規定に従い無料修理を行うことをお約束するものです。

品番	MSS-6100A
お客様様	お名前
	ご住所 〒                      -
	電話番号                      (                      )
販売店名・住所・電話番号	
電話番号                      (                      )	
保障期間	
お買い上げ日                      年                      月                      日 より <b>1年間</b>	

無線サービス株式会社

〒223-0058 横浜市港北区新吉田町東1-28-1

TEL 045-549-3730 (代表)

## 保障規定

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態で保障期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  - 無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 保障期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
  - 本製品以外の故障（例えばアンテナ、ケーブル、電源の故障等）に誘発された故障及び損傷。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報、保障期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。